

第9回 あげお未来創造市民会議 会議録

1. 日 時 令和2年1月17日（金） 9時30分～12時00分

2. 場 所 青少年センター会議室

3. 出席者 委員：飯塚 純 ・伊原広茂 ・大木晴夫 ・大澤サユリ・大塚常司
岡部千里 ・小川和男 ・小川早枝子・河原塚透 ・桐原陽子
小島 勝 ・小牟田健治・鈴木靖代 ・関本正弘 ・高橋雅之
刀根正克 ・中澤正俊 ・能登 貢 ・萩原和也 ・本城文夫
的場保子 ・宮田敬生 ・矢島通夫 ・山尾三枝子・山口 直
横堀鶴雄

(欠席委員 市倉育江 ・竹村絵里 ・増田澄雄)

事務局：行政経営課 野崎課長 ・本郷副主幹・東海林主任・三浦主任

加計外付： 永澤副主幹 ・松本主査 ・鈴木(彰)主任 ・大橋主任

鈴木(彰)主任 ・吉岡主任 ・野澤主任 ・林主任

田中主任 ・細井主任 ・石川主任 ・野間主任

コンサルタント：株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング

4. 次 第

〈第9回あげお未来創造市民会議〉

- 1 開会
- 2 グループ討議
・施策に対する意見検討①（協議分野2の理想の状態）
- 3 その他
- 4 閉会

5. 配付資料 次第

あげお未来創造市民会議～第9回資料～

分野ごとの理想の状態検討シート

第8回会議まとめ資料

6. 議事概要

〈第9回あげお未来創造市民会議〉

1 開会

委員長：皆さま、おはようございます。本日は、お忙しい中ご出席をいただきましてありがとうございます。これより、第9回あげお未来創造市民会議を始めさせていただきます。はじめに事務局から事務連絡をお願いします。

《事務局から配付資料の確認》

2 グループ討議

《コンサルタントが「あげお未来創造市民会議～第9回資料～」に基づき、前回の議論のあらましや本日の協議テーマ、協議の方法などについて説明》

《5グループに分かれ、各グループの協議テーマにおける「分野ごとの役割分担」について議論し、発表した》

委員：Fグループでは「都市基盤・公共交通・環境・緑地・公園」について議論しました。

まず「上水道・下水道」については安心安全な水が確保されていることや、サービスの持続性が担保されていることが理想とされました。水道は災害に対する強さも求められるとの意見もありました。このほか、雨水を貯めるタンクに関して、市の補助金も活用しつつ、設置が進むとよいとの意見が出ました。

次に「土地利用」については、もっと緑が欲しいといった意見や、ワンルーム住宅建設を規制してほしいという意見がありました。「住環境」に関しては、治安が良く災害に強いまちが理想の状態とされました。

「交通」については、東西を行き来できるアンダーパスや陸橋により、東西の交流が活発な状態が理想とされました。

「道路」は、生活道路を優先的に整備してほしいとの意見のほか、上尾駅西口の歩道を広げて造った自転車道をモデルとして、他の箇所でも整備を進めてほしいとの意見がありました。

最後に「環境保全」「廃棄物・リサイクル」「生活環境」「みどり」について、より効率的なリサイクルができているのが理想の状態と指摘されたほか、みどりや農地が保全されているのが望ましいとの意見が出ました。

司会：他のグループの方でFグループへのご意見・ご質問などある方はいらっしゃいますか。

《意見なし》

司会：続きまして、Gグループの発表をよろしくをお願いします。

委員：Gグループでは「子育て」について、理想の状態を検討した結果、「上尾市は安全・安心に子育てができる場所であるというイメージがあること」「孤立させない環境があること」「子どもたちの希望や自己肯定感が育まれる環境があること」の3点が特に望ましいものとされました。

まず、「安全・安心のイメージ」については、交通事故やネット上のトラブル、大人による犯罪に巻き込まれないことのほか、保育所や医療機関などの施設が充実していることが重要とされました。

「孤立させない環境」については、社会全体で子どもを育てる意識が大切であり、地域住民に気軽に相談できる体制が重要との指摘がありました。

最後に「自己肯定感」については、子どもたちの力を信じて見守っていくことが大事であり、子どもたちが自由に外で遊べる環境が確保されている中で、地域の人とも関わり合いが持てることが必要との意見がありました。

司 会：他のグループの方で G グループへのご意見・ご質問などある方はいらっしゃいますか。

《意見なし》

司 会：続きまして、H グループの発表をよろしくお願いします。

委 員：H グループでは「文化・スポーツ」について議論しました。

仮に各分野にキャッチコピーを付けるとすれば、「文化・芸術、文化財」では「文化・芸術のまち」、「生涯学習」では「キッズから高齢者まで」、「スポーツ・レクリエーション」では「健康シティ上尾」になろうかと思えます。

それぞれの分野について、ハード面とソフト面における理想の状態が考えられます。「文化・芸術、文化財」につき、ハード面では、廃止された小学校など既存の施設を活用し、市民の発表の場が確保されている状態が理想とされました。また、「生涯学習」に関してハード面では、体育館や公民館の空きが少なく、利用料金も高いので、こうした施設がより利用しやすい状態が理想とされました。

「スポーツ・レクリエーション」につき、ハード面では、市内にある様々な公園がグリーンベルトで結ばれ、高齢者のウォーキングなどに活用されているのが理想の状態であるとされました。また、ボルダリング場やスケートボード場など、整備にコストのかからない施設があれば、若者にスポーツのまちをアピールできるのではないかという意見もありました。

他方、ソフト面では、全分野に共通して、指導者・後継者が育成されていることが重要とされました。また、特に「文化・芸術、文化財」では、新たな芸術祭や映画祭があればよいのではないかとの意見もありました。

司 会：他のグループの方で H グループへのご意見・ご質問などある方はいらっしゃいますか。

《意見なし》

司 会：続きまして、Iグループの発表をよろしく申し上げます。

委 員：Iグループでは「教育」について議論しました。

最上位の目標として、発想が豊かな子どもが育つことが理想であり、そのためには固定観念にとらわれず、自由な雰囲気のある教育環境があることが重要とされました。

具体的には、例えば特に近年、教育現場の多忙さが指摘される中で、教員数、教室数が増え、少人数学級が実現できれば、教員の働き方が改善されるのみならず、教育環境の充実が図れるのではないかと意見がありました。また、「教育は人なり」との信念に則り、教員の資質や専門性が高いことも大切であるとされました。さらに、子どもたちが志を持てるよう、キャリア教育がしっかりと行われていることも重要との指摘がありました。

このほか、教育設備の平準化や、学校と保護者の連携強化が大事との意見や、学力テストの点数が高くなれば、市の大きな特徴になるのではないかとといった意見もありました。

司 会：他のグループの方でIグループへのご意見・ご質問などある方はいらっしゃいますか。

《意見なし》

司 会：続きまして、Jグループの発表をよろしく申し上げます。

委 員：Jグループでは「産業」について議論しました。

「農業」「商業」「工業」「観光」「勤労者・就労支援」の全分野に共通する理想の状態として、「収入が安定していること」「後継者がいること」「働ける場があること」が挙げられました。

個別に述べると、「農業」では、法人化等を通じた大規模農業の実践や高付加価値化などにより収益性を高めていくことが重要との意見がありました。また、地産地消を求める意見もありました。

「商業」については、あげポタを情報発信に活用していくべきとの意見や、空き店舗を創業の拠点にしてはどうかといった意見が出ました。

「工業」に関しては、上尾道路沿いを工業特区のようなものに指定して、既存の各事業者が操業しやすい環境づくりを進めることが大切であるとされました。

「観光」については、新しい観光資源をつくることが重要ではないでしょうか。中山道のジオラマを作成し、江戸時代後期から明治時代にかけての上尾市を紹介することも考えられます。

最後に「勤労者・就労支援」では、元気でいつまで働けることが理想とされ、予防医学を充実させることが重要との意見が出ました。

司 会：他のグループの方で E グループへのご意見・ご質問などある方はいらっしゃいますか。

《意見なし》

委員長：本日も大変お疲れ様でした。続いて、次第の3「その他」について、事務局から説明をお願いします。

3. その他

《事務局から、第10回会議は2月7日（金）、第11回会議は3月14日（土）の開催を予定している旨、連絡があった。》

4. 閉会

委員長：そのほか、委員の皆さまからご意見はございますか。なければ、以上をもって第9回あげお未来創造市民会議を終了します。ご協力ありがとうございました。

以上